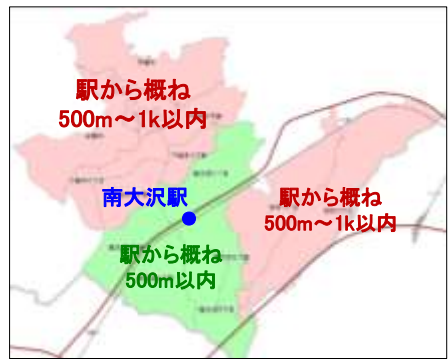
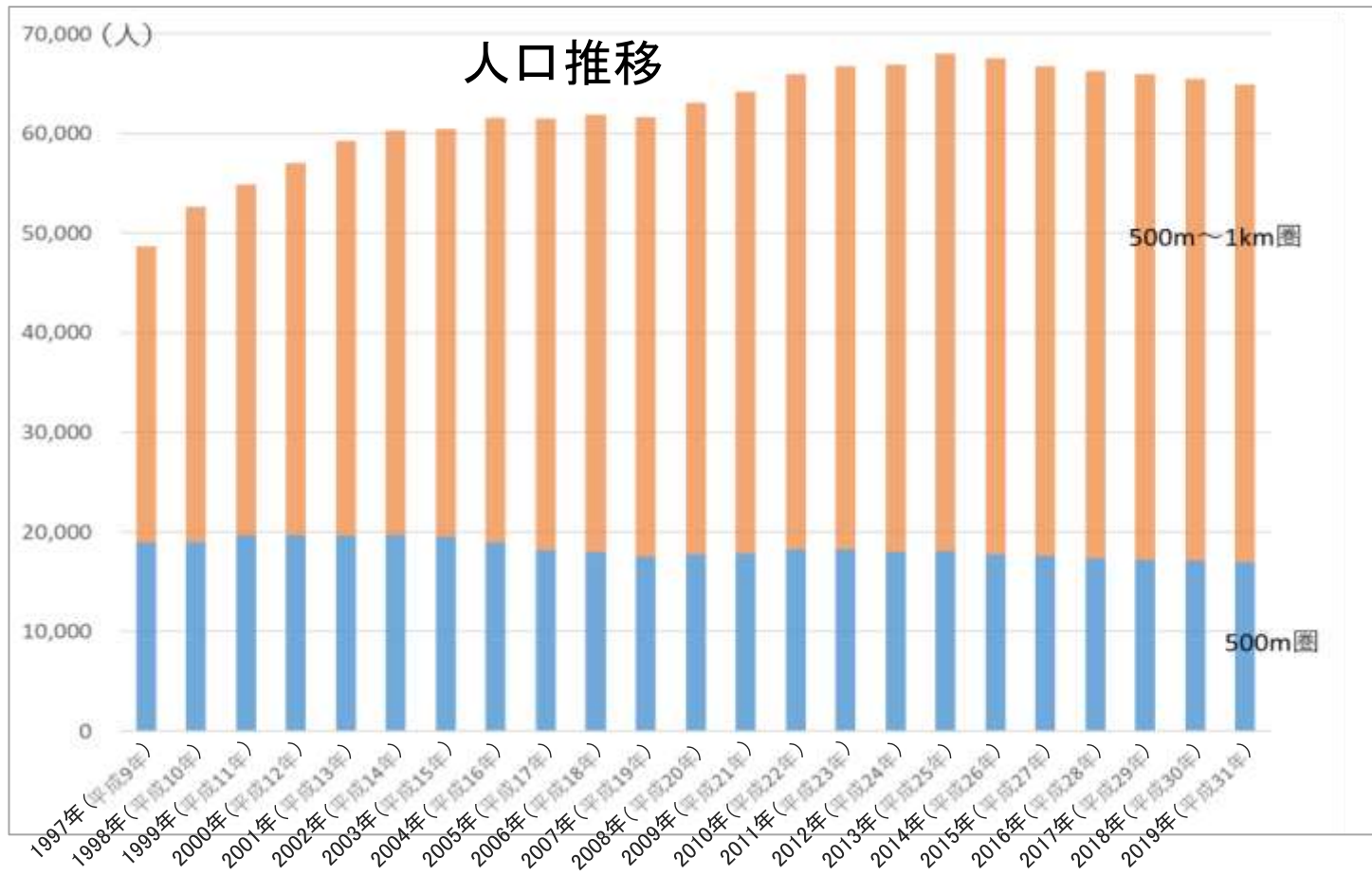


人口は、1997年以降2019年までの間、概ね増加傾向にあるが、2013年以降は減少している

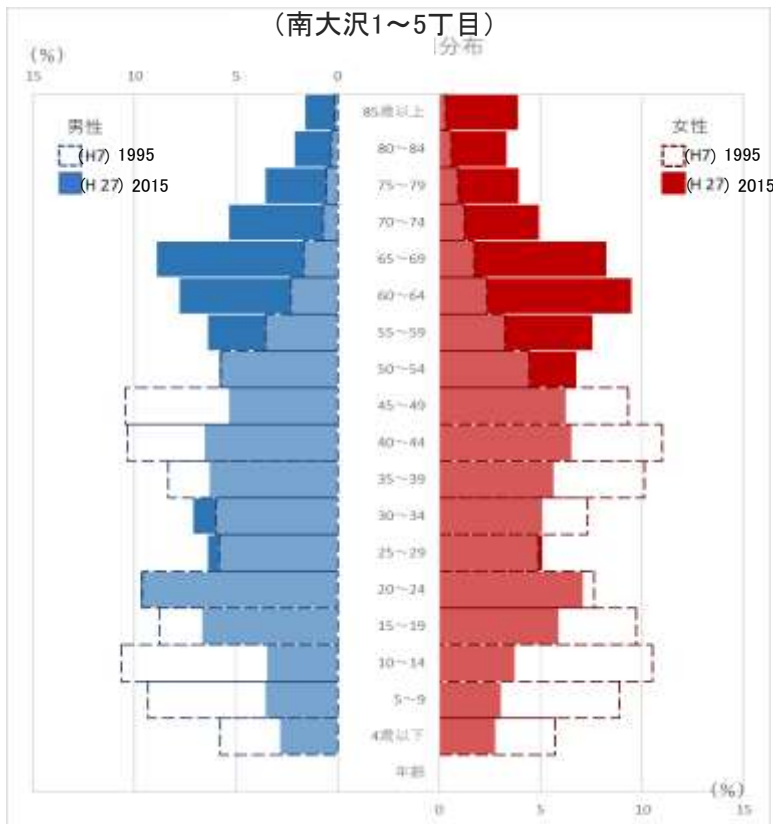


- 駅から概ね500m圏以内**
: 南大沢1~5丁目
- 駅から概ね500m~1Kの範囲内**
: 上柚木1~3丁目、下柚木1~3丁目、別所1、2丁目

南大沢駅前周辺では、多摩ニュータウンの他地区同様に高齢化が進行している

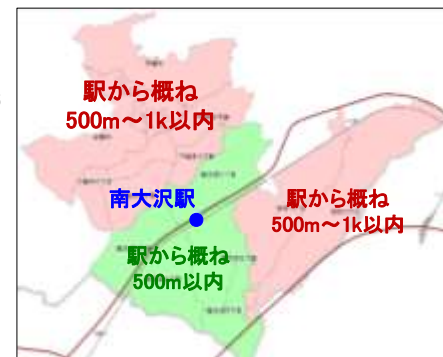
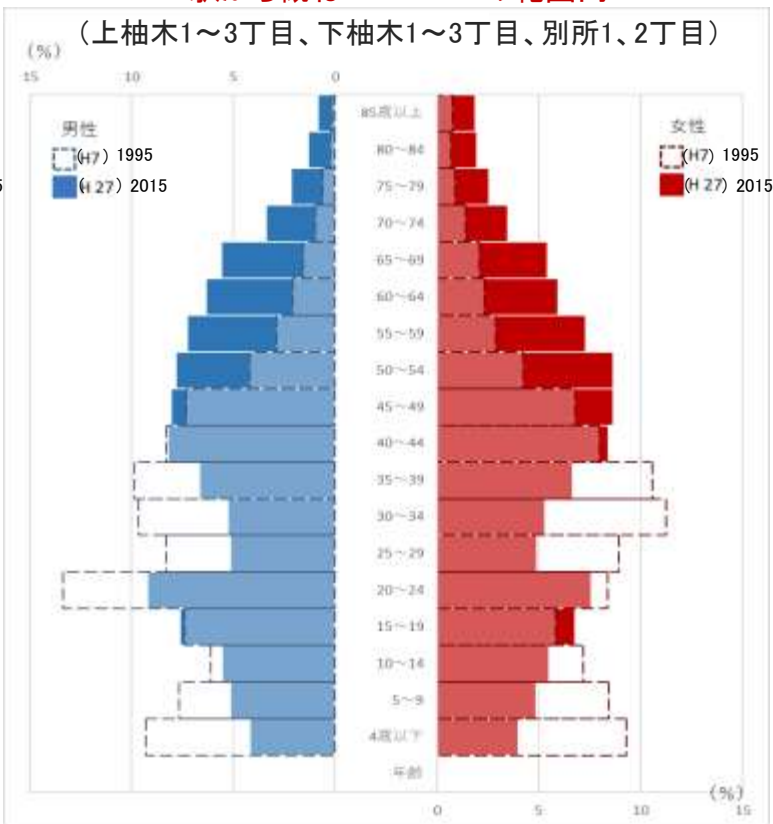
駅から概ね500m圏以内

(南大沢1～5丁目)



駅から概ね500m～1Kの範囲内

(上柚木1～3丁目、下柚木1～3丁目、別所1、2丁目)



人口データ: 各年国勢調査

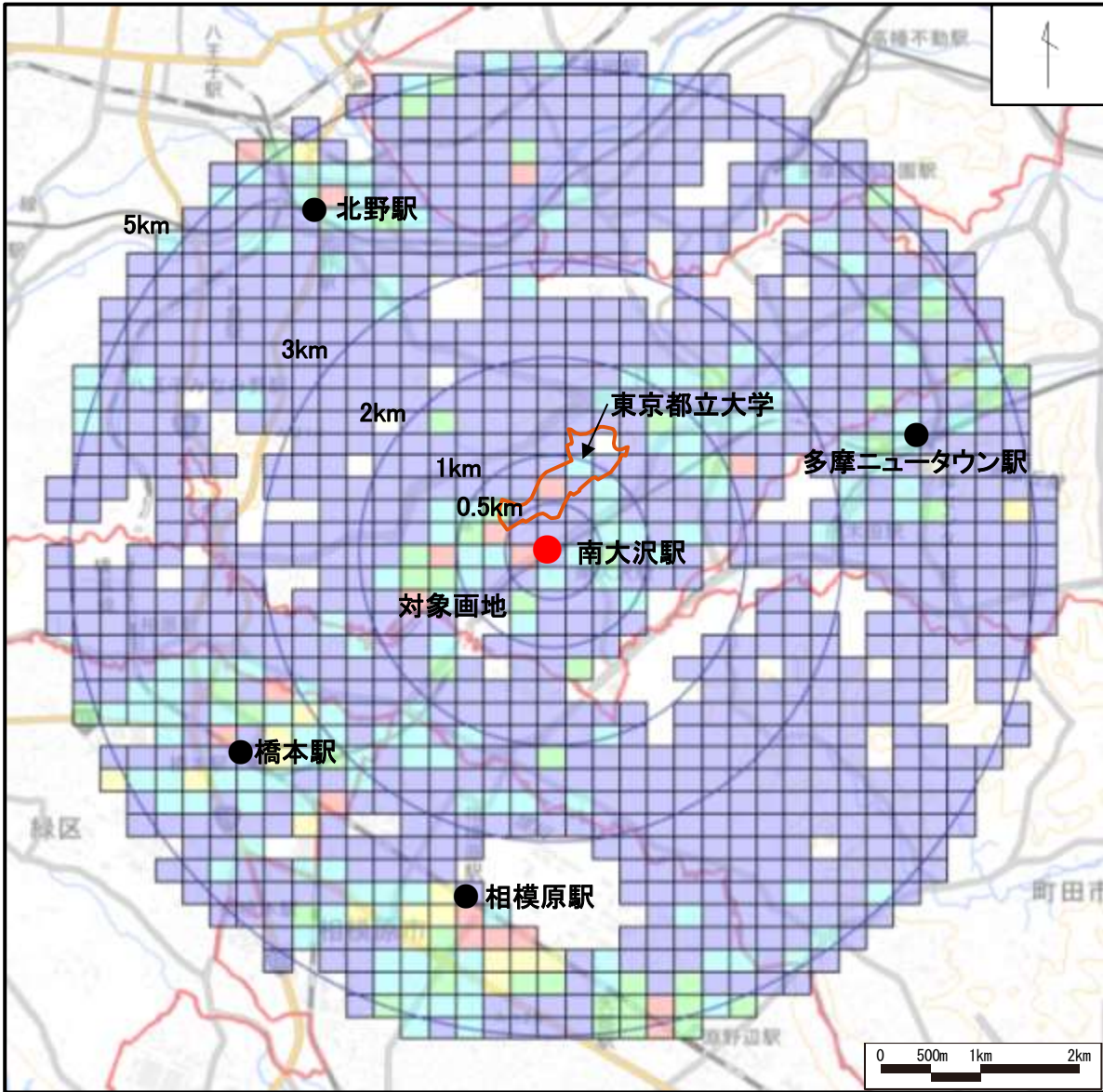
- ▶ 南大沢駅周辺地区は、入居開始間もない20年ほど前(1995(平成7)年)の時点では、若い世代や子どもが多く、人口ピラミッドはツリガネ型であった(点線表示部)が、その後、時間の経過とともに高齢化が進んでいる

南大沢駅前は大型商業施設や東京都立大学が立地していることから昼間人口が多く、一方で周辺部は住居が多く立地し夜間人口が多い



- 夜間人口＝常住人口
- 昼間人口とは、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地の集計結果を用いて算出された人口である

南大沢駅周辺では南部や西部にかけて外国人の居住がみられる



| | |
|----------|-------|
| 0～0.5km圏 | 358人 |
| ～1km圏 | 730人 |
| ～2km圏 | 1370人 |
| ～3km圏 | 2889人 |
| ～5km圏 | 7210人 |



国勢調査において、「国籍」に日本以外の国、地域を記入した者の合計

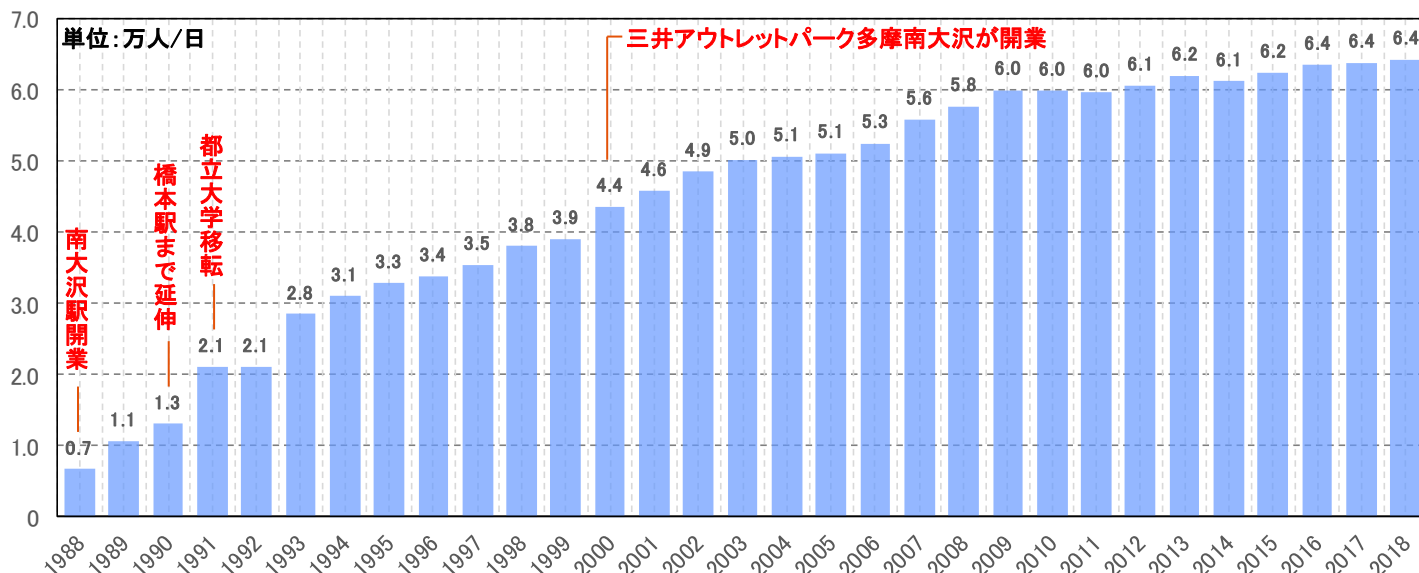
出典：2015(平成27)年国勢調査5次メッシュ(250m)より作成

Ⅲ-13 乗降客数と従業者数からみた駅前の拠点性

■ 南大沢駅乗降客数の変動

2018(H30)年の南大沢駅の乗降客数は6.43万人/日ある。多摩ニュータウンを縦断する相模原線では、ターミナル駅の橋本駅(9.9万人)、多摩センター駅(9.0万人)について三番目に多い。

東京都統計年鑑、京王電鉄株式会社の公表より整理



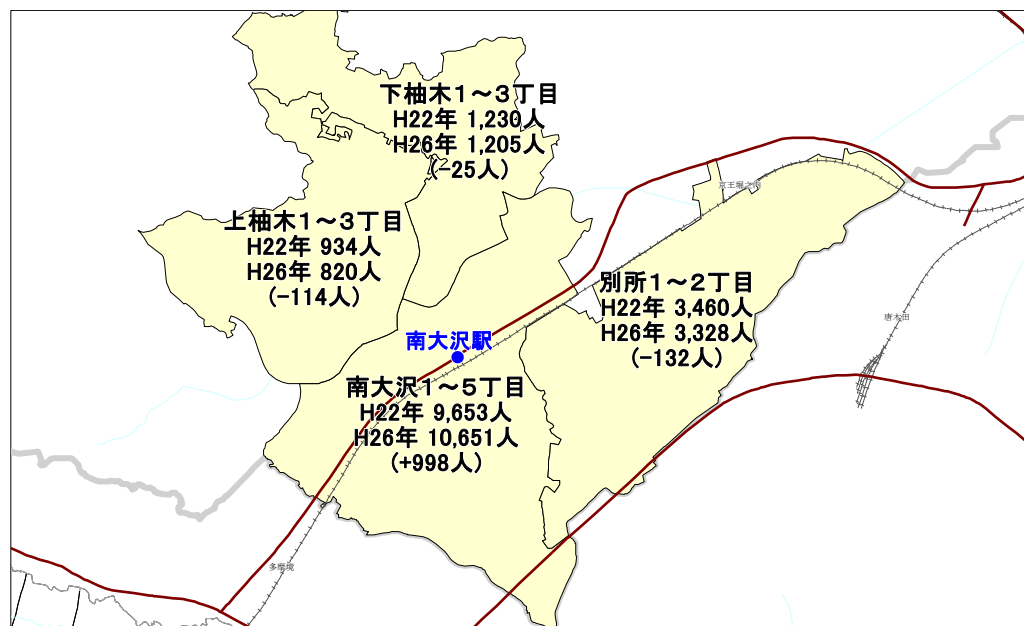
■ 南大沢駅周辺主要町丁目の従業者数の状況

2010(平成22)年と2014(平成26)年の従業者数は、駅に隣接する南大沢1~5丁目では998人増加した。

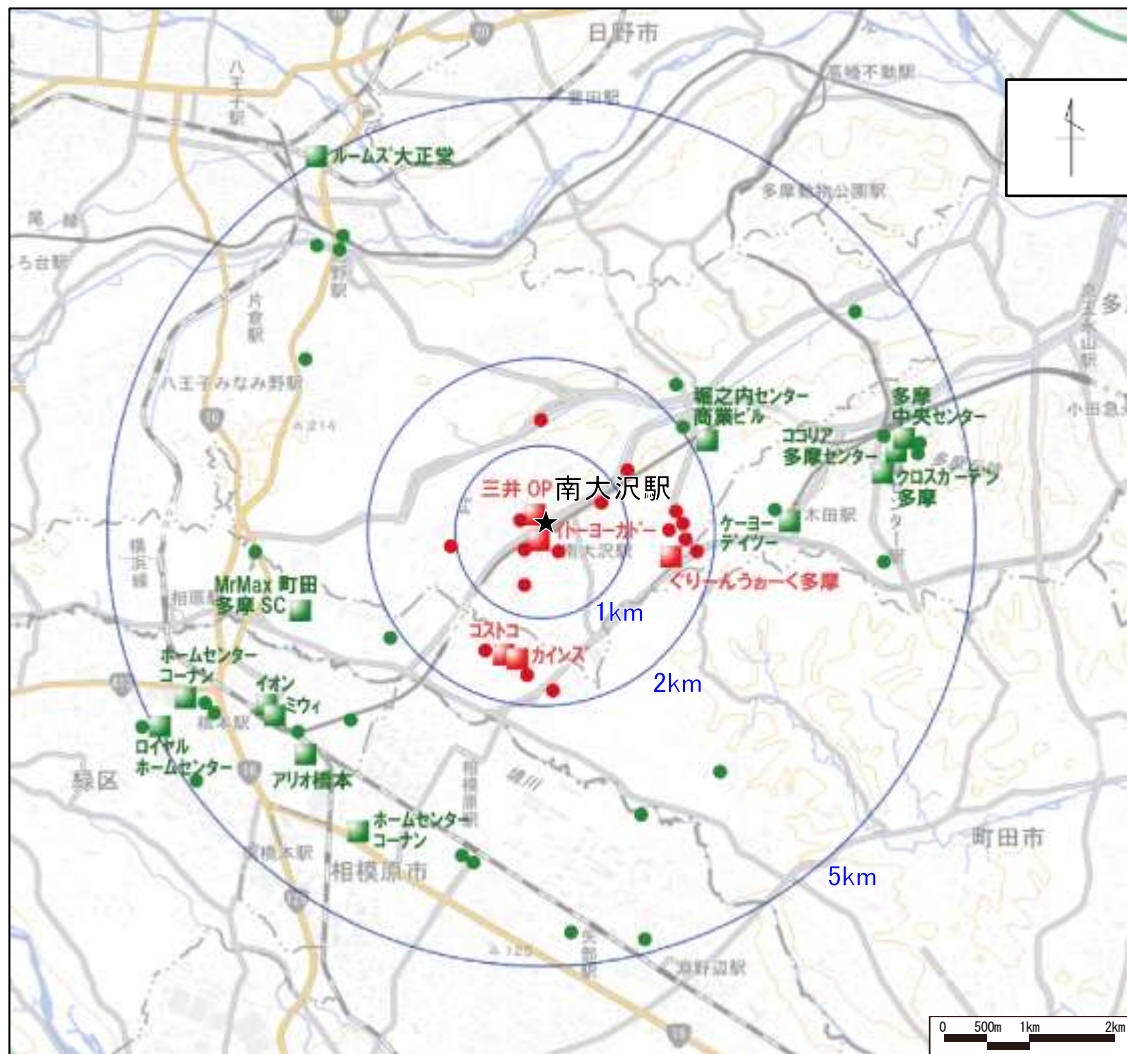
これに対して、周辺町丁目ではいずれも減少している。事務所が集約する傾向にあることが見られる。

なお、八王子市全体では、2014(平成26)年の従業者数は約21.2万人。南大沢駅周辺の4つ丁目合計は16,000人で八王子市の約7%を占める。

「経済センサスH22、H26」(民間従業者集計)より整理



南大沢駅周辺は、駅前をはじめ郊外などに多くの大型小売店が立地している
 南大沢駅前にある三井アウトレットパーク多摩南大沢は広域からの独自の商
 圏を形成し、一方イトーヨーカドーは駅周辺を商圈とし、2施設は共存している

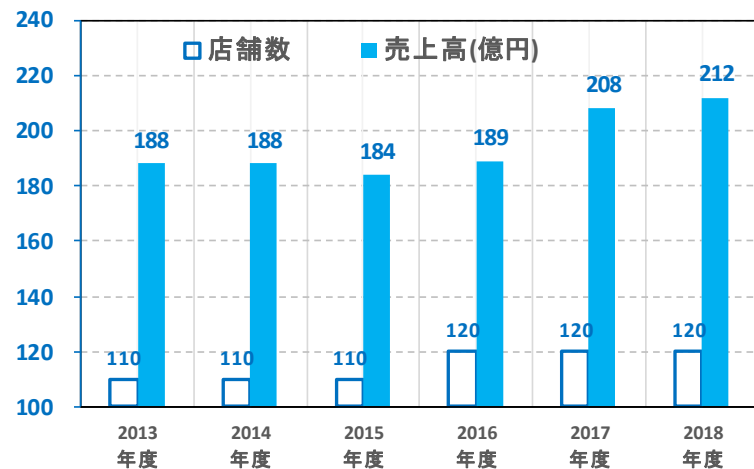


- 凡例
- 2km圏内、売場面積が10,000㎡以上の店舗
 - 2km圏内、売場面積が10,000㎡未満の店舗
 - 2km～5km圏内、売場面積10,000㎡以上の店舗
 - 2km～5km圏内、売場面積10,000㎡未満の店舗

出典：全国大型小売店総覧2019(週刊東洋経済)

南大沢駅前に立地する三井アウトレットパーク多摩南大沢は、都内や神奈川県などで数少ないアウトレットモールであり、独自の商圈を形成している

三井アウトレットパーク多摩南大沢の売上高と店舗数の推移



グラフは三井不動産(株)のIR資料より整理。来場者数に関する公式発表はない

周辺アウトレットモールの店舗面積、店舗数、年間売上 (21019/9現在)

| | | |
|--------------|-------------------|-------------------------------|
| 三井OP多摩南大沢 | 21,000㎡、120店、212億 | |
| 三井OP横浜ベイサイド | 15,000㎡、80店、81億 | リニューアル中 |
| 三井OP入間 | 32,000㎡、210店、357億 | |
| 南町田グランベリーパーク | 53,000㎡、234店 | 2017/2一時閉店リニューアル、2019/11再オープン |

※ 三井アウトレットパークはIR発表より、グランベリーパークは東急電鉄のプレスリリースより整理

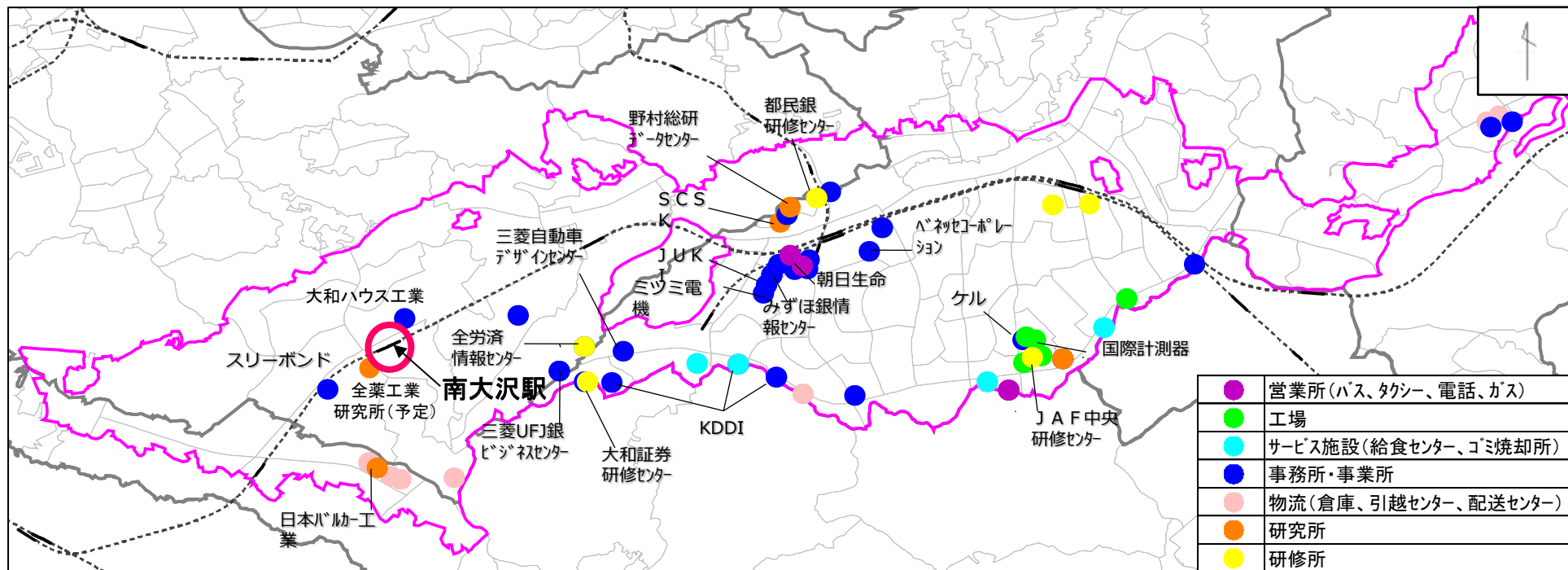
三井アウトレットパークの南大沢への事業進出のねらい:これは当社にとって4番目の施設となり、首都圏では「横浜ベイサイドマリナーショップス、計画中の千葉県幕張のプロジェクトと合わせ、合計3つの施設が都心を中心にトライアングルを構成し、首都圏全体の商圈を効率的にカバーする体制が整うこととなる(1999(H11)年12月1日、三井不動産株式会社プレスリリースより整理)

周辺の主なアウトレットモール



Ⅲ-15 業務施設等の立地状況

南大沢駅前やその周辺には、業務施設や研究所・研修所などの立地が進んでいる



H27年度 東京都調査結果に一部加筆

資料:「多摩ニュータウン開発事業誌」(UR都市機構)

資料編纂以降、近年立地した事業所については、以下の基準に基づいて把握した。

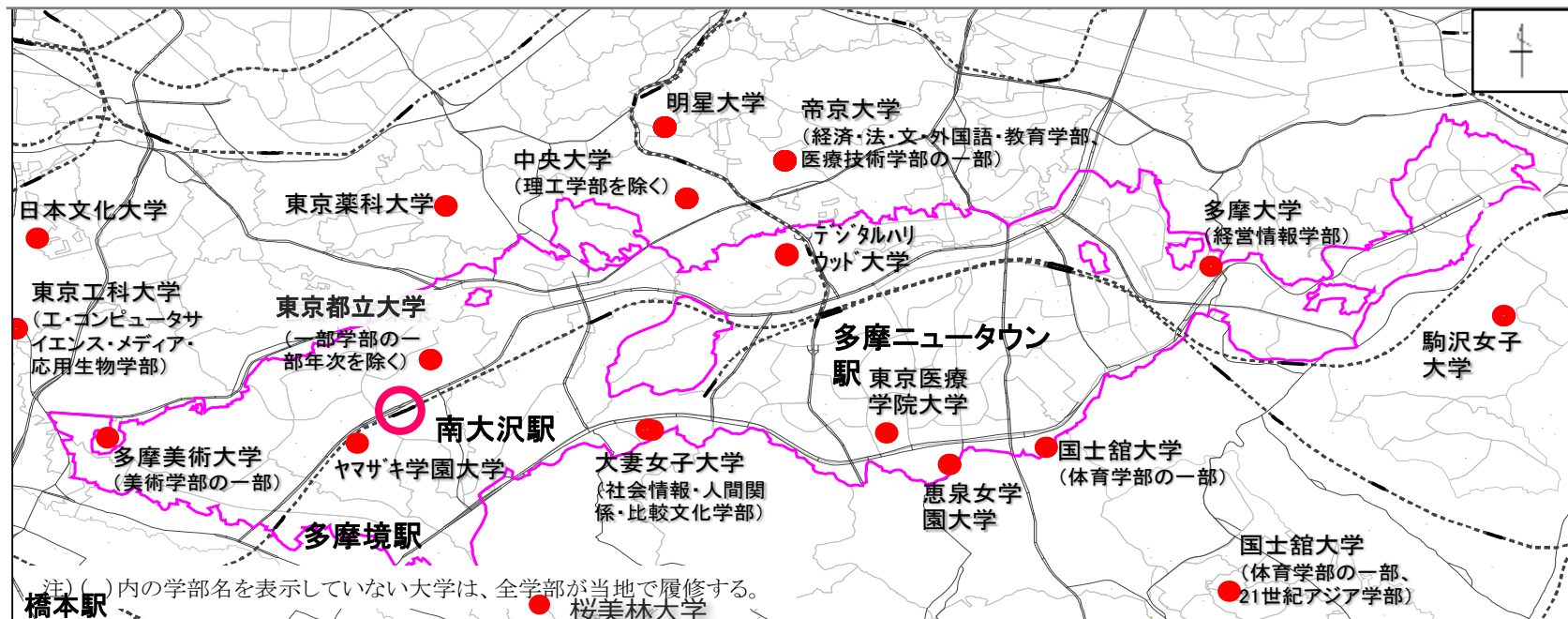
多摩市、八王子市:企業誘致奨励条例の奨励企業等

稲城市:地図上から規模の大きい事業所を把握

町田市:敷地面積1ha以上の事業所を地図上から把握

Ⅲ-16 大学の立地状況と留学生数

南大沢駅前やその周辺には多くの大学が立地し、南大沢駅周辺では東京都立大学、多摩美術大学、ヤマザキ学園大学などが立地している



国土数値情報
(平成25(2013)
年度作成)、各
大学ホームペ
ージを基に東京
都作成(平成28
(2016)年現在)

周辺大学の留学生数等

| | 学生数 | 留学生数 | 留学生割合 | 留学生寮収容数 | | 学生数 | 留学生数 | 留学生割合 | 留学生寮収容数 | | |
|---|--------------------|--------|-------|---------|----------------|-----|----------------------------|--------|---------|------|------------------------------|
| 1 | 東京都立大学 | 9,134 | 656 | 7% * | 135+20人(3施設)※1 | 8 | 明星大学 | 8,734 | 16 | 0% | |
| 2 | 多摩美術大学 | 4,719 | 525 | 11% | 10人(建設中) | 9 | 帝京大学 八王子キャンパス | 11,035 | 831 | 8% | 76室※2 |
| 3 | 東京工科大学 八王子キャンパス | 5,223 | 222 | 4% * | | 10 | 恵泉女学園大学 | 1,440 | 9 | 1% | |
| 4 | 東京薬科大学 | 3,770 | 8 | 0.2% | | 11 | 国士館大学 (多摩)体育学部 | 2,106 | 2 | 0.1% | 留学生支援企業 協力推進協会の 社員寮を斡旋 |
| 5 | 中央大学 多摩キャンパス | 16,823 | 725 | 4% | 362人※2 | 11 | 国士館大学 (町田)21世紀アジ ア学部 | 2,003 | 242 | 12% | |
| 6 | 大妻女子大学 多摩キャンパス | 1,189 | 15 | 1% * | | 12 | 駒沢女子大学 | 2,390 | 35 | 1% | |
| 7 | 桜美林大学 町田キャンパス | 6,446 | 849 | 13% | 389人(2施設)※2 | | 全体 | 75,012 | 4,135 | 6% | |

* 留学生数は他のキャンパスを含む ※1 日本人レジデントアシスタント数を含む ※2 収容対象は日本人学生を含む
(各大学の公表資料から作成。各大学に留学生寮等に関するヒアリングは行っていない。)

都立大学の重点目標 (第三期中期目標より、2019(令和元)年変更)

- 1 グローバル化が進む中での、大都市課題を解決する人材の育成・輩出と、卓越した研究の推進
- 2 変化し続ける社会からの要請への的確な対応と、それを支える基盤の強化
- 3 東京都が設立した高等教育機関ならではの教育研究を推進し、東京の未来へ貢献

教育・研究の全体像(全キャンパス)

| 学部(7学部) | 大学院(7科) | 研究センター(15) |
|--|---|--|
| 人文社会学部 法学部 経済経営学部 理学部 都市環境学部 システムデザイン学部 健康福祉学部 | 人文科学研究科 法学政治学研究科 経営学研究科 理学研究科 都市環境科学研究科 システムデザイン研究科 人間健康科学研究科 | 宇宙理学研究センター、生命情報研究センター、金の化学研究センター、水道システム研究センター、コミュニティ・セントリック・システム研究センターなど |
| 学生数・教職員数 (2019(R1)年5月1日現在) | | |
| 学 生 9,134人 (留学生 656人)(学部 6,895人、専攻科 10人、大学院 2,229人) 教職員 1,025人(教員 668人、職員 357人) | | |

南大沢キャンパスの概要

表記以外の建物は主として学部棟、研究棟

主要キャンパスの面積

| | |
|-----|--------|
| 南大沢 | 43.0ha |
| 日野 | 6.2ha |
| 荒川 | 3.5ha |
| 晴海 | 6.2ha |



※ HPの掲載に基づいて整理

大学の研究の質 国内ランキング

| 2002~06年 | 研究の質 | 2012~16年 |
|---------------|------|----------|
| 首都大学東京 | 1位 | 首都大学東京 |
| 東京大学 | 2 | 東京大学 |
| 総合研究大学院大学 | 3 | 信州大学 |
| 奈良先端科学技術大学院大学 | 4 | 京都大学 |
| 京都大学 | 5 | 東北大学 |
| 東京工業大学 | 6 | 名古屋大学 |
| 東北大学 | 7 | 早稲田大学 |
| 大阪大学 | 8 | 東京工業大学 |
| 奈良女子大学 | 9 | 筑波大学 |
| 名古屋大学 | 10 | 東京医科歯科大学 |

▶東京都立大学(令和2年3月までは『首都大学東京』)は旧帝国大学などを抑え、研究の質で国内トップに位置している

▶研究の質の向上には、知力と体力の両方が最も充実する若手の育成と活躍促進が欠かせないが、都立大学では、若手教員が研究に専念できる場を提供している

以上、日本経済新聞電子版より

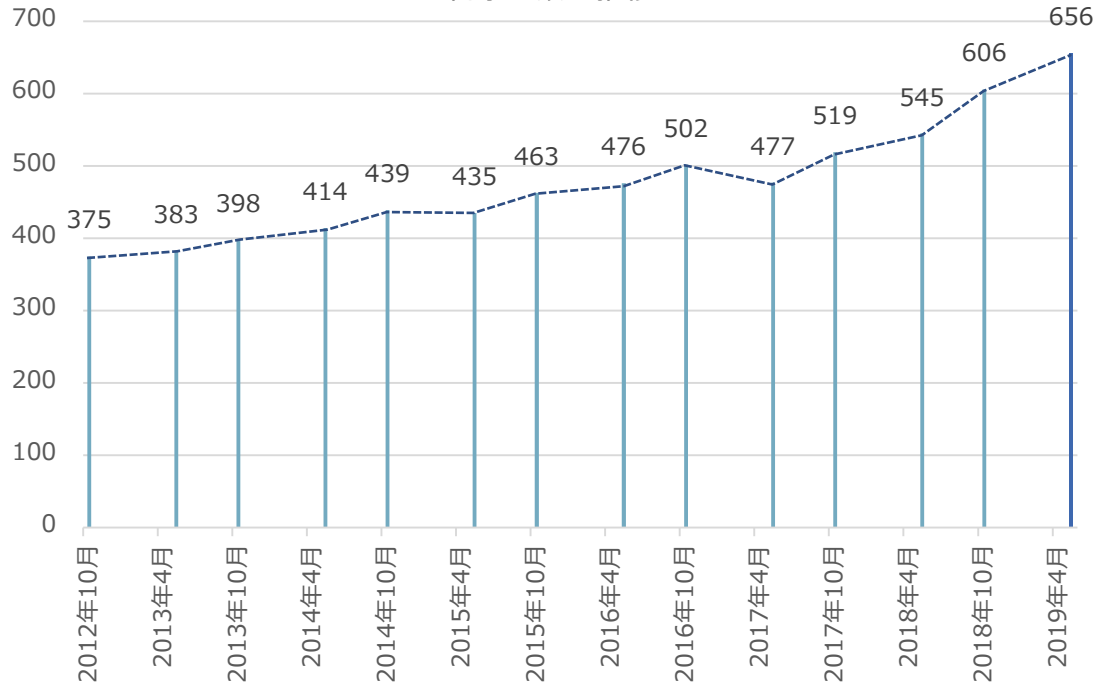
調査概要

日本経済新聞は学術出版世界大手のエルゼビア(オランダ・アムステルダム)、自然科学研究機構と協力し、国内、世界の有力大学の計209大学について分析しており、「研究の質」は発表した学術論文の引用数から算出され、ここでは引用件数が多いほど質が高いとされる

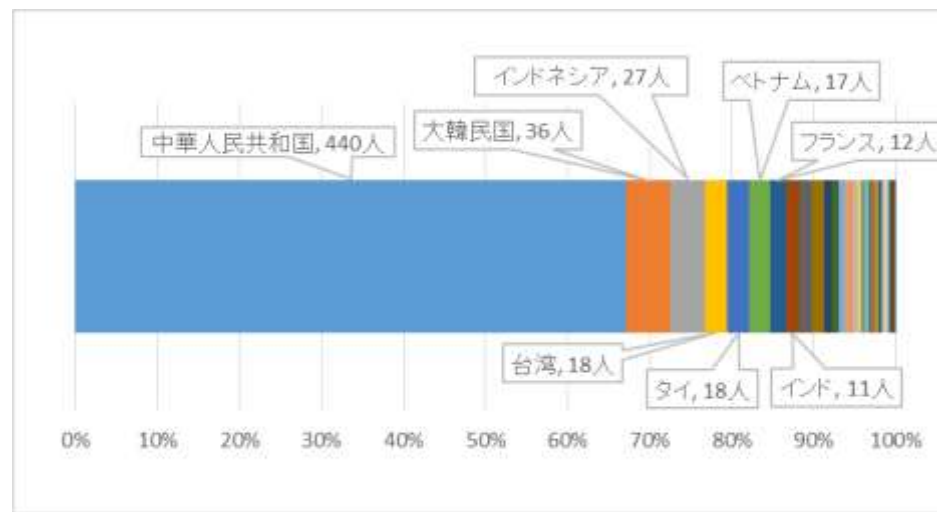
(日本経済新聞電子版より一部加工)

留学生数は増加傾向にあり、この2年間では200人近く増加している

留学生数の推移



留学生出身地の内訳(2019年5月)



凡例 南大沢キャンパスにある学部等

課程・所属別の内訳(2019(令和元)年5月)

(単位:人)

| 学部 | 区分 | 人文社会学部 | 都市教養学部 人文・社会学系 | 法学部 | 都市教養学部 法学系 | 経済経営学部 | 都市教養学部 経営学系 | 理学部 | 都市教養学部 理工学系 | 都市環境学部 | システム デザイン学部※1 | 健康福祉学部※2 | 国際センター | 合計 | 南大沢 キャンパス 想定 |
|-----|----|--------|-------------------|-----|---------------|--------|----------------|-----|----------------|--------|------------------|----------|--------|-----|--------------------|
| 学部計 | | 30 | 15 | 1 | 0 | 8 | 6 | 11 | 14 | 13 | 60 | 0 | 49 | 207 | 147 |

| 大学院 | 区分 | 人文科学研究科 | 法学政治学 研究科 | 経営学 研究科 | 社会科学 研究科 | 理学 研究科 | 理工学 研究科 | 都市環境科学 研究科 | システム デザイン研究科※3 | 人間健康科学 研究科※4 | 合計 | 南大沢 キャンパス 想定 |
|------|----|---------|--------------|------------|-------------|-----------|------------|---------------|-------------------|-----------------|-----|--------------------|
| 大学院計 | | 124 | 16 | 16 | 3 | 27 | 23 | 90 | 116 | 34 | 449 | 299 |

(単位:人)

南大沢キャンパス

学部 147人
大学院 299人
合計 446人

※1 1・2年次は南大沢キャンパス、3・4年次は日野キャンパス ※3 日野キャンパス
 ※2 1年次は南大沢キャンパス、2～4年次は荒川キャンパス ※4 荒川キャンパス

地域連携、社会貢献の取り組み

(「平成30年度 公立大学法人首都大学東京業務実績等報告書」より)

1 地域との連携

福祉、防災、まちづくり、コミュニティビジネスなど地域課題解決に向けて、都内外の自治体の他、地域におけるインターフェースの役割を果たす金融機関・NPO等、様々な担い手との連携を強化する(以下は事例抜粋)

- (1) 京王電鉄(サービスデザイン研究プロジェクト「d-COCOON」)
- (2) 多摩信用金庫(地域創生スクール)
- (3) 世田谷区(子どもの生活実態調査設計・分析)
- (4) 八王子市(高尾山口駅周辺地区観光まちづくり史調査業務委託)
- (5) 八王子市及び公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団(エビデンスベースデザインを活用したサイン計画に関する研究)
- (6) 八王子市(伝承のたまてばこ・多摩伝統文化フェスティバル2018)

2 生涯学習

都民や企業等のニーズを踏まえたオープンユニバーシティ講座の更なる充実を図るとともに、インターネット上で講義内容を無償公開するオープンコースウェア(OCW)の充実により、学術成果等を都民に還元し、社会人向けのリカレント教育等に資する学修環境を整備する(以下は事例抜粋)

- (1) OCWのログイン数は2018(H30)年度は約19400回
- (2) 八王子市の学園都市大学「いちよう塾」の講座企画に協力
- (3) 東京都後援、東京証券取引所及びみずほフィナンシャルグループとの共催による「金融講座」を実施
- (4) 東京都病院経営本部の要請を受け、「放射線治療技術学連携講座」に加え、「臨床研究支援人材育成講座」を新たに実施

法人と自治体・関連団体との包括協定締結状況

(公立大学法人首都大学東京産学公連携センターの公表より)

2010(H22)年度まで

多摩市、東京都中小企業振興公社、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、公益財団法人東京都医学総合研究所

2011(H23)年度

北区、板橋区、多摩信用金庫、荒川区、東京商工会議所

2012(H24)年度

板橋区中小企業振興公社(現板橋区産業振興公社)、日野市、東京中小企業投資育成株式会社

2013(H25)年度

東京都都市づくり公社、東京都農林水産振興財団

2014(H26)年度

株式会社新銀行東京

2016(H28)年度

八王子市

2017(H29)年度

小笠原村、(株)東京TYフィナンシャルグループ及び傘下3行

【都立大学としてのまちづくりへの貢献】

- 国際社会で活躍する人材の育成(外国人留学生・研究者の受け入れ)
- グローバルな課題解決に資する研究の推進
- Society5.0の実現に向けた社会実装を促す研究
- 5G環境を活用した実証実験・研究成果等を活用したスタートアップ等の支援

【都立大学はもとより、地域の教育機関の発展に資する機能、その他】

- 地域と一体となった国際的な賑わいのあるまちづくり
- 外国人留学生・研究者等が利用する快適な居住空間(学生寮・短期間居住可能な施設等)
- 周囲と調和した国際的に評価される建築・まちなみのデザイン
- 一時的な託児・子育て支援施設

Ⅲ-18 先端技術の活用

TOKYO Data Highway基本戦略に係るアクション

5Gの重点整備エリアの設定

- ・ 五輪会場
- ・ 西新宿スマートシティプロジェクト
- ・ 東京都立大学エリア (スマートユニバーシティプロジェクト)

東京都立大学エリア(スマートユニバーシティプロジェクト)

- ・ 5Gの社会実装に向けた取組の推進
- ・ 5G環境を活用した研究・実証実験等
- ・ 5Gの活用によるスタートアップ支援等
- ・ 産学公連携による5G先進地域の創出(南大沢駅周辺エリア)

先端技術の活用

多摩ニュータウン再生の方向性

- ・ 魅力的な生活関連サービスを導入
- ・ 新たなビジネス環境の創出や職住近接のワークスタイルを実現
- ・ 高齢者等の移動円滑化の実現

南大沢駅周辺エリアにおける先端技術の活用イメージ

- ・ 商業施設等における案内ロボット
- ・ 自動運転バス
- ・ カメラとAIを活用した無人店舗
- ・ AIスタートアップ企業支援のワーキングスペースなど



出典：TOKYO Data Highway 基本戦略

Ⅲ-19 南大沢について まとめ

- ニュータウンとして開発され、計画的に道路や公園が整備され、良好なみどりや景観が形成されており、駅前を中心に大型商業施設や東京都立大学、生活利便施設などが立地し、地域の内外から**多くの人が訪れる拠点**を形成している
さらに、リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)の計画や南多摩尾根幹線の整備の進展など、将来のまちづくりに大きな影響を及ぼす交通インフラ整備の動きが加速している
- 他方、今後は居住者の高齢化、住宅団地の老朽化等ニュータウン特有の課題が顕在化する可能性がある
- また、最先端のICTによる研究環境を備えた東京都立大学を中心とした取組により、まちづくりへの**先端技術**活用が期待されている
- さらに、南大沢駅周辺は、東京都や八王子市の上位計画において、**留学生や海外からの研究者**向けの住宅の確保の促進、**国際化**に対応したまちづくり、**新たなイノベーション**の創出が掲げられている

まちづくりのキーワード

「にぎわい」 「先端技術」 「イノベーション」 「国際」